

報 二〇二二年七月～十二月

大 谷 学 会

◇研究発表会

十月二十二日(金)午後一時～

於 講堂

配慮の実践―津村記久子『君は永遠に
そいつらより若い』における存在の
ありよう― 本学講師 泉谷 瞬
コロナ禍におけるグローバル・ソーシ
ヤルワークの展開―Socialwork Action
Network-International (SWAN-I) 実践
から― 本学准教授 中野加奈子
支援が必要な子どもと親のための光・
音・匂い環境を用いた『親子の遊び
空間』の提案
本学准教授 井上和久
記録を集めて歴史に残す
―僧祐の『出三藏記集』とその後の
中国中世仏教―
本学講師 戸次顕彰

※戸次講師の発表については、今号に
発表要旨として掲載している。その
他の発表については、次号以降に論
文として掲載する予定である。

真宗総合研究所

◇委員会

八月六日(金)午前十時～

於 響流館会議室

- ・二〇二一年度研究組織について
- ・研究所紀要投稿ガイドラインの改正
について
- ・その他(報告事項)

九月二十四日(金)午後四時三十分～

於 博綜館第五会議室

- ・特別研究員の委嘱及び二〇二一年度
研究について
- ・一般研究(予備研究)の公募につ
いて
- ・規程改正について
- ・研究事業の改編について
- ・その他

九月二十九日(水)～十月六日(水)

書面会議
・一般研究(予備研究)の公募につ
いて
十月十四日(木)～二十二日(金)

書面会議

- ・東方仏教徒協会規程の改正について
- 十一月五日(金)午後四時三十分～

於 博綜館第五会議室

- ・二〇二一年度「特定研究・指定研
究・資料室」の研究計画について
- ・研究所紀要査読及び校閲について
- ・客員研究員の受入れについて
- ・その他

十二月十日(金)午後四時三十分～

於 響流館会議室

- ・研究所紀要第三十九号査読・校閲結
果について
- ・東京分室PD研究員の募集につ
いて
- ・その他

真 宗 学 会

◇第一回例会(卒業論文梗概発表会)

十月七日(木)午後六時～

於 慶聞館K二〇七教室
親鸞における方便の意義

本学大学院修士課程第一学年

元氏 唯

海外開教区での親鸞思想の展開―アメリカにおける真宗に対する理解―

本学大学院修士課程第一学年

竹中 力

現代における真宗の意義の考察
―廃寺問題の事例から―

本学大学院修士課程第一学年

稲垣潤映

本願 本学大学院修士課程第一学年

吉藤城太郎

◇大会

十月二十六日(火)午後三時

於 響流館メディアホール

他力・離脱・信

―親鸞とエックハルトのあいだ―

早稲田大学教授 守中高明

「誓願―仏乗」試考―「現代臨床」とい

う視点にむきあって―

本学准教授 藤元雅文

◇修士論文中間発表会

十一月三日(水)午後二時四十分

於 慶聞館K二〇四教室

親鸞における「如実修行相応」

本学大学院修士課程第二学年

西村沙羅

信巻における如実修行相応について

本学大学院修士課程第二学年

千部良介

宗教と道徳―清沢満之の思想―

本学大学院修士課程第二学年

高松祐真

真宗における救済観

―「唯除」の文の意義―

本学大学院修士課程第二学年

和田宗見

◇第二回例会

十一月十日(水)午後二時五十分

於 慶聞館K三〇七教室

直ちに弥陀の弘誓重なる

―真門顕彰隱蜜の義における「法華讀」引文について―

本学大学院博士後期課程第二学年

◇第三回例会

十一月二十四日(水)

午後二時五十分

於 慶聞館K三〇七教室

「行巻」における「念仏成仏」引用の意義

本学大学院博士後期課程第一学年

山雄優生

「諸仏称名」と衆生の「念仏」

本学大学院博士後期課程第三学年

浅井竜一

◇卒業論文中間発表会

十一月二十五日(木)午後六時

於 慶聞館K二〇七教室

ただ信心を要とすとしるべし

―親鸞の信心観―

思想探究コース 三木ゼミ

巖城大空

親鸞聖人の往生観

―往生の具体相を問う―

思想探究コース 山田ゼミ

一條顯壽

板先唯人

親鸞の善悪観

現代臨床コース 藤元ゼミ

門脇 陸

日本とアメリカの浄土真宗の比較から
見る、実態と展望

国際コース 井上ゼミ

武田浩太郎

◇第四回例会

十二月八日(水) 午後二時五十分

於 慶聞館K三〇七教室

「必至」と「畢竟得」

―曇鸞『浄土論註』における証果の
願とその成就について―

本学大学院博士後期課程第二学年

千葉一生

親鸞の臨終来迎観

―そのリアリティの所在―

本学大学院博士後期課程第一学年

千賀貴信

◇第五回例会(教員発表)

十二月二十二日(水)

午後二時五十分

於 慶聞館K三〇七教室

真宗聖教研究における課題と展望

本学講師 本明義樹

仏教学会

◇新入会員歓迎講演会

十月二十一日(木) 午後一時

於 慶聞館K四一四教室

ボン教の典籍

本学教授 三宅伸一郎

国史学会・日本仏教史学会

◇大谷大学日本史の会大会・総会

七月二十四日(土) 午後一時

名畑崇先生・大桑斉先生追弔会

於 尋源講堂

研究発表(午後二時)

於 慶聞館K二〇四教室

地域に開かれた大学美術館

―九州産業大学美術館のこれから―

門井慶介

中学校・高等学校における教員研修と

教科指導―私立高田中・高等学校

社会科、地理歴史・公民科の事例―

上杉義磨

明治初期琉球における真宗史

―第三次法難事件に関連して―

福島栄寿

大和河内の古道と藤原京 米田敏幸

総会(午後五時)

◇大谷大学日本史の会九月例会

九月二十五日(土) 午後二時

於 慶聞館K二〇一教室

地域博物館における新型コロナナウイ
ル 対策の現状―大東市立歴史民俗資
料館を事例にして―

◇大谷大学日本史の会十二月例会

十二月四日(土) 午後二時

於 慶聞館K二〇一教室

初期豊臣政権城制政策の再検討

紺野佑介

文藝学会

◇公開講演会(オンライン開催)

七月十三日(火) 午後一時

於 響流館メディアホール

日本近世における中国文論の受容

お茶の水女子大学教授 和田英信

神仏関係からみた「神兵」言説の系譜

本学准教授 佐藤愛弓

◇『文藝論叢』第九十七号発行

(十月A5判一〇四ページ)

〈目次〉

釈戒明請来「志公十一面観世音菩薩真

身」像画像説の考察 野村卓美

すべてが「サーピス」化する社会／す

べてを「サーピス」化する文学―津

村記久子のテクストにおける「非物

質的労働」の両義性― 泉谷 瞬

金原ひとみ『蛇にピアス』論

―再構築される身体とジェンダー―

堀川なつみ

「寄生」する生―佐藤亜紀『吸血鬼』論

― 安井萌七美

慈燈文学の一考察―一九四二年『大同

報』掲載作品を中心に― 李 青

中国文学会

◇卒業論文中間発表会

十月十九日(火)午後一時

Teamsによるオンライン開催

「枕中記」のテーマ考察 古澤瑞紀

芥川論 杜子春と杜子春伝の比較―愛

について― 竹村雪音

乳幼児教育学会

◇『大谷大学乳幼児教育学会研究紀要』第

二号刊行(二〇二二年三月予定)に向

けて準備を進めている。

